

秋田職能短大 鷹巣技術専門校

北鹿の学び舎から

2021-2022

OB、在校生、学校の今 ③

地域支える「町の電気屋さん」

第3回は、平成8年3月に秋田職能能力開発短期大学校(以下・秋田職能短大)の生産技術科を卒業し、現在は阿仁ラジオ店を経営する金田正樹さんの紹介です。

秋田職能短大には、秋田県

立米内沢高等学校電子機械科から進路指導の先生の勧めもあり、推薦で入学。卒業後は、株式会社共電秋田に就職し3年間勤務した後、会社の再編で退職。家業継ぎのため1年間、奈良県のヤマブが経営する技術者・経営者育成のための塾で、修理技術・資格・経営について学び地元米内沢で父親とともに仕事を始め現在に至ります。

秋田職能短大時代の思い出として、総合制作が印象深く残っています。現在の仕事にも通ずる部分もあり、担当された大槻先生の下で、2軸テーブルを作成し、シーケンス制御でテーブルの位置決めを

阿仁ラジオ店

金田 正樹さん

秋田職能短大 3期生

「お客様に迷惑をかけることをモットーに仕事をしています。」

現在、私は秋田県電機商業組合北秋支部の支部長を務めています。構成員はここ10年で3割近く減り年齢層も高齢化が進んでいます。事業を継ぐ人材、いわゆる後継者がいなく今後ますます減少しています。一刻を争うことでしたの



われですが、「そのお金があれば軽トラを買うよ。」といった声を聞くと2000年の地デジへの移行の際とは違い、8Kの商品は今のところ地域の方の要望は小さいと感じています。ある時、女性のお客様から電話がありました。様子を見に訪れてみると、連れ合

現在の仕事を継続するにあたり、「町の電気屋さん」としての顔はもちろん維持し、人口減少や高齢化で事業経営者が少なくなる中、異なる職種

秋田職能短大 生産技術科 田山 英臣